

令和元年度新見市地方独立行政法人評価委員会（第6回）議事要旨

1 日 時 令和 2 年 2 月 1 4 日（金） 9 : 5 5 ~ 1 1 : 3 0

2 場 所 市役所本庁舎 3 階 第 4 委員会室

3 出席者

(1) 評価委員会 岡崎委員長、中西委員、田中委員

(2) 事務局 小林課長、難波参事、稲岡主事

4 議 事

(1) 公立大学法人新見公立大学 中期計画（第3期）について

第5回評価委員会において、公立大学法人新見公立大学 中期計画（第3期）に係る評価委員から聴取した意見等を元に、その後公立大学法人新見公立大学と調整した当該計画の修正案について内容確認を行った。

詳細は、以下のとおり。

発言要旨 (○委員、●市)	発言に対する質疑応答、意見要旨 (○委員、●市)
<p>I 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育</p> <p>1) 教育の内容</p> <p>(2) バランスのとれた人間教育</p> <p>●文中「…教養と資質の涵養、ならびに人間力の向上…」を「…教養と資質の涵養、並びに人間力の向上…」に修正。</p> <p>(3) 能力を高めるキャリア教育</p> <p>●文中「コミュニケーション能力、基礎的な英語力、情報処理能力などの充実を目的として…」を「多様な社会情勢の変化に的確に対応できることを目指し…」に、「…また、体験学修、インターンシップ、国際交流、海外研修などを取り入れた学修機会を提供し、実践能力の高い社会人としての専門職人材を養成する。」を「…また、体験及び交流を取り入れた学修機会を提供し、課題解決能力に優れた社会人を養成する。」に修正。</p> <p>○中期目標において、「教育・研究等の室の向上に関する目標」と表記されているた</p>	<p>異論なし</p> <p>異論なし</p> <p>○「(1) 質の高い専門職教育」「(2) バランスのとれた人間教育」「(3) 能力を高めるキャリア教育」の内容が同質になった。</p> <p>●修正する。</p>

め、中期計画においても「教育」と「研究」の間に「・」を入れた方が良い。

○「さまざま」が他の項目では「様々」で標記されているため、統一させた方が良い。

●修正する。

2) 教育の実施体制

(1) 柔軟で実効性の高い教育組織の構築

●文中「教育内容の充実を目指し、全学的視点から…」を「教育内容の充実を目指し、学科単位の専門的な視点に加え、多くの知識を身につける視点から…」に修正。

異論なし

(2) 実践的な学修を目指した修学環境の整備

●文中「…実践的な学修を目指して修学環境の充実を図る。…」を「…実践的な学修を目指して、学生を受け入れる実習施設の増加を図るなど、修学環境の充実を図る。…」に、「…また、地域社会と一体となった環境の整備については、新たな発想や提案…」を「…また、地域社会の理解と協力を得ながら、新たな発想や提案…」に修正。

異論なし

(4) 教育活動の評価体制の適正化

●文中「…教育活動が適切に評価される体制を整える。」を「…教育活動が適切に評価される体制を整えるとともに、外部評価を適正に実施する。」に修正。

異論なし

2 研究

1) 研究の内容

(1) 地域連携の推進

●文中「中山間地域が抱える課題に関係した研究…」を「地域ニーズの把握に努め、中山間地域が抱える課題に関係した研究…」に修正。

異論なし

2) 研究の実施体制

(1) 研究環境の充実

●文中「多様な研究活動を柔軟かつ弾力的に実施できる体制の充実を図り、…」を「優れた研究者を確保するため、多様な研究活動を柔軟かつ弾力的に実施できる組織体制を整備するとともに、…」に修正。

●文中「少子高齢化が進む中山間地域をフィールドとした…」を「世界的な学術情報に基づく視点から少子高齢化が進む中山間地域の問題を捉えるとともに、地域社会をフィールドとした…」に修正。

3 学生の確保及び支援

1) 学生の確保

(1) 効果的な入学者選抜の実施

●標題「(1) 精査した入学者選抜の実施」を「(1) 効果的な入学者選抜の実施」に、文中「…社会的な情勢に関する情報収集に努め、多面的な分析に基づく入学者選抜の検討を行い、学生確保を重点に精査し実施する。」を「…社会的な情勢により多様化する社会の動向を的確に捉え、志願者に関する情報収集に努めるとともに、多面的な分析に基づく検討を行い、学生確保に向けて効果的な入学者選抜を実施する。」に修正。

異論なし

異論なし

○「効果的な」という言葉が適切か。「効果的」が、大学が意図する「明確な目的意識を持った学生を確保する」という意味ではなく、単に学生数の確保という誤った捉えられ方をされるのではないか。

○文章が長くなってでも、伝わりやすい表現にした方が良い。

●18歳人口減少について触れているため、数の確保の意味が強く読み取れる。

○文章の再検討を依頼する。

大学との意見調整結果

標題「効果的な入学者選抜の実施を」を「社会的な情勢に対応した入学者選抜の実施」に、文中「…18歳人口減少などの社会的な情勢により多様化する…」を「…18歳人口減少など多様化する…」に、「…志願者に関する情報収集に努めるとともに、…」を「…志願者に関する情報収集に努め、…」に修正。

<p>(3) 積極的な入試広報の実施</p> <p>●文中「…新聞広告などの適切な広報手段を活用し…」を「…新聞広告、ホームページ、SNSなどの適切な広報手段を活用し…」に修正。</p> <p>●入学者選抜において、県内枠を設けており、公平性を確保する必要があるため、新聞広告の表記は残したとのことである。</p>	<p>異論なし</p> <p>異論なし</p>
<p>(5) 修学に専念できる環境の整備</p> <p>●中期目標にある「学生が目標を設定し、修学に専念できる環境整備」に対応する項目として追加した。</p> <p>「学生の修学意欲を高めるため、各種の奨励制度を整える。また、大学内の施設環境の改善を図るとともに、サテライトキャンパスなど学修フィールドの整備を行い、効果的な修学が行える環境を整備する。」</p> <p>○サテライトキャンパスは、地域に出向くことを指しているのか、施設的なことを指しているのか。</p> <p>○奨学金制度は、学習意欲を高めることになるのか。</p> <p>○給付型奨学金の審査は毎年か。</p> <p>○「環境」の整備とあるが、「環境」をどう捉えるかである。金銭面の支援を含むのか、場所のことなのか。ここでは金銭面の支援を含んでいると読み取れる。この項目</p>	<p>異論なし</p> <p>●現状で、看護学科においては倉敷成人病センターの近くにサテライトキャンパスを持っているが、看護に限らずサテライトキャンパスを整備していこうとするものである。</p> <p>●今年度新設された給付型奨学金制度では、経済的な要件に加え、成績優秀者を対象としている。年間10万円（看護学科5人/学年、健康保育学科4人/学年、地域福祉学科4人/学年）の給付であり、勉学に励むモチベーションにつながるものと考えられる。</p> <p>●毎年ある。</p> <p>●「環境」には、ハード面だけではなく、学生の学修へのモチベーションの維持も含んでいるものと考えられる。奨学金制度を例に挙げたが、それだけではなく、表彰制</p>

に金銭面の支援まで含めるかである。「2) 学生に対する支援」の中に「(1) 経済的な修学支援」があるが、その項目とどの様に異なるのか。

○「…健康科学に関する知識など学べる場所として…」とあるが、「…健康科学に関する知識などが学べる場所として…」が適当ではないか。

2) 学生に対する支援

(4) 安心安全の学生生活支援

○「学生の健康保持」や「障害のある学生に対する学修支援」が検討にとどまった文章となっているが、この点が重要なのではないか。また、「…防犯や交通安全意識の啓発活動を行い…」とあるが、「啓発活動」とはそもそも意識を高めることであり、実行力を含めた啓発活動が求められることから、文章が不自然である。

度の様に学生の気持ちの部分の支援も含まれる。

○「(5) 修学に専念できる環境の整備」は学生確保のための計画であり、「2) 学生に対する支援」の中の「(1) 経済的な修学支援」は支援の具体例と理解できる。

○内容について**異論なし**とする。

●入力ミスであるため修正する。

○障害のある学生への支援については触れなければいけない。文章を区切るなどし、別の文章として位置づけるべき。

○文章の再検討を依頼する。

大学との意見調整結果

文中「保健管理センターを中心に、学生の健康保持を図り、障がいのある学生に対する学修支援について検討し、学生が健康的で安定した生活を送ることができるよう、健康教育の実施、予防接種の促進などの健康管理を実施する。また、防犯や交通安全意識の啓発活動を行い、ハラスメント防止体制の確立、適切な学生生活支援を実施する。」を「保健管理センターを中心に、学生が健康的で安定した生活を送ることができるよう、健康教育の実施や予防接種の促進などで健康管理の徹底を図るとともに、障がいのある学生に対する学修支援を実施する。また、防犯や交通安全に関する啓発活動を行い、ハラスメント防止体制の確立、

<p>II 社会貢献に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1) 地域の「学びの場」</p> <p>●文中「法人の職員が各地域組織の委員や講師…」を「教職員が各地域組織の委員や講師…」に修正。</p> <p>2) 学生ボランティアの「活動の場」</p> <p>●文中「地域共生推進センターを中心に、大学と地域住民、行政機関、民間企業、諸団体をつなぎ、…」を「地域共生推進センターを中心に、地域住民、行政機関、民間企業、諸団体と連携して、…」に修正。</p> <p>IV 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織の改善及び効率化</p> <p>●文中「…カリキュラムや予算の複雑化…」を「…カリキュラムや財務の複雑化…」に修正。</p> <p>1) 機構の再編</p> <p>●標題「1) 法人運営上の組織改善」を「1) 機構の再編」に、文中「…業務方法を検討し、組織の改善と効率化を図る。」を「…業務方法を検討し、必要に応じて機構を再編し、責任所在の明確化及び意思決定の迅速化を図る。」に修正。</p> <p>2) 資産管理の改善及び効率化</p> <p>●標題「2) 自主運営上の組織改善」を「2) 資産管理の改善及び効率化」に、文中「…適切で計画的な運営のため、財務運営の透明性を高めるとともに、施設整備基金の創設等による組織改善を図る。」を「…適切で計画的な運営のため、コンプライアンスの遵守を徹底し、財務運営の透明性を高めるとともに、退職手当基金並びに施設整備</p>	<p>適切な学生生活支援を実施する。」に修正。</p> <p>異論なし</p> <p>異論なし</p> <p>異論なし</p> <p>異論なし</p> <p>異論なし</p> <p>異論なし</p>
--	---

基金を創設し資産管理の改善及び効率化を図る。」に修正。

○退職手当基金とあるが、記載する意味は。

○現在プロパー職員はいないのか。

○市からの出向職員を減らし、独立していただく意図があるのか。

3) 職員の評価制度の改善

● 標題「3) 法人職員の評価システムの構築」を「3) 職員の評価制度の改善」に、文中「…法人職員の評価システムを構築する。」を「…法人職員の評価制度の改善を図る。」に修正。

2 人事の適正化

1) 職員の資質向上

● 標題「1) 大学運営上の人事適正化」を「1) 職員の資質向上」に修正。

2) 専属職員の採用

● 標題「2) 法人運営上の人事適正化」を「2) 専属職員の採用」に修正。

3) 職員に関する規定の整備

● 標題「3) 自主運営上の人事適正化」を「3) 職員に関する規定の整備」に、文中「…プロパー職員の規程等を整備し、…」を「プロパー職員に係る規程等を見直し、…」に修正。

● 「2 人事の適正化」の「2) 専属職員の採用」の中で、プロパー職員の採用について記載していることによるものと考えられる。法人が採用する職員となるため、資金管理の項目において、プロパー職員の退職手当を確保するための基金を準備することについて記載する必要がある。

● 臨時職員はいるが、退職手当の対象となる者はいない。

● 学生の増加に伴い財務が複雑化しているため、プロパー化を検討している。

異論なし

異論なし

異論なし

異論なし

V 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

●文中「…検定料など、収入項目は限定的であるが、本学の将来性に配慮して財務内容の改善を図る。」を「…検定料などの自己収入を確保するとともに、将来の学生数の減少などのリスクも考慮して財務内容の改善を図る。」に修正。

異論なし

1 自己収入の確保及び増減リスクへの対応

●標題「1 自己収入の確保に関する目標」を「1 自己収入の確保及び増減リスクへの対応」に、文中「授業料などの自己収入の確保に万全を期し、財政基盤の安定化を図る。」を「入学志願者数を維持すること及び授業料などの自己収入の確保に万全を期すとともに、財政基盤の安定化を図る。また、財務の区分管理を徹底し、自己収入を財源とした基金を創設するなどして、自己収入の増減リスクの緩和を図る。」に修正。

異論なし

2 外部資金の確保

●文中「…の外部資金の獲得に向けた取組を積極的に推進する。」を「外部資金の獲得に向け、研究情報の収集及び共有を行い、積極的な応募を推奨する。」に修正。

異論なし

3 経費の抑制

●文中「四年制対応について目的意識を持った、有効で効果的な対応を図るとともに、合理的な管理及び経費の抑制を目的とした各種の施策を計画的に実施する。」を「四年制対応及び地域共生推進センター等の事務増加について、最小の経費で最大の効果を得られるよう各種の施策を計画的に実施する。特に、計画的な修繕及び管理経費の縮減が期待される事業については、早期に実施し、経費の抑制を図る。」に修正。

異論なし

VI 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 情報公開及び情報発信に関する目標

●文中「…市民に対する情報公開及び情報共有を図る。」を「…市民に対する情報公開及び情報共有を図る。特に、外部から情報の公開を求められた場合に対しても、個人情報保護などに配慮し、積極的にホームページ等での公開を図る。」に修正。

異論なし

VII その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置

2 危機管理及び安全管理

●文中「事故や災害の未然防止に努めるとともに、迅速かつ適切に対応できる危機管理体制を構築するため各種計画やマニュアルを整備し、緊急時に迅速な行動がとれるよう訓練及び研修を計画的に実施する。」を「事故や災害の未然防止に努める。また、有事の際には迅速かつ適切に対応できるよう、危機管理の各種計画やマニュアルを定期的に見直すとともに、訓練及び研修を計画的に実施する。」に修正。

異論なし

VIII 予算、収支計画及び資金計画

●大学によって、「0」と「-」の扱いは異なり、決まりはない。大学としては特別に修正の指示がなければこれまでどおりの表記方法の継続を希望している。

異論なし

○「3 資金計画」の区分「資金支出」中「次期中期目標期間への繰越金」については「0」と表記されているため0円であり、それ以外は「-」であるため、1万円未満という使い分けか。

●そのとおり。

○一般的な「0」と「-」の使い分けとは逆であるが、大学側の使い分けで決められているのであれば異論なし。

X III 新見市地方独立行政法人法施行規則（平成20年新見市規則第16号）で定める事項

3) 経済性を重視した整備 ● 標題「3) 経済性の重視した整備」を「3) 経済性を重視した整備」に修正。	異論なし
--	------

(2) 次回会議について

疑義が生じた点について、内容は適当であり、表現方法の問題であるため、修正点の確認に当たっては、改めて会議を開催することはせず、委員長一任で行うことに対して全会一致で了承を得た。

→ 後日、大学と表現方法について調整し、2月26日(水)に岡崎委員長に対して修正内容を説明したところ、他の委員に対しても確認を要する点が生じたため、同日に田中委員に対して、2月27日(木)に中西委員に対して修正内容を説明した。

その結果、全委員から修正内容について了解が得られたため、公立大学法人新見公立大学 中期計画(第3期)については、新見市地方独立行政法人評価委員会の承認がされたものとする。